

## 建設企業常任委員会行政視察概要

令和5年8月9日（水）

於 豊島区議会 イケ・サンパーク

午前10時20分～午後0時

### 1 調査概要・説明…………… 豊島区都市整備部交通政策担当課長

都市整備部公園緑地課長

都市整備部公園緑地課係長

#### 「イケバスの導入について」

豊島区では小型の電気バス「IKEBUS（イケバス）」が走っている。10台の車両を持ち、定員22名、最高速度19キロのバスで、まちの活性化、回遊性を広げる事業のシンボルである。電気で走るイケバスは排気ガスを出さないため、環境にもやさしい構造である。令和元年11月から運行を開始しており、9月末までは運賃100円で走行している。バス停などとともに赤で統一された車のボディにカラフルな車内シートを備えているオリジナルバス、貸切事業も行っており、保育園の遠足での活用など地域にも愛されており、幅広い使い方をしている。サポーター制度として地元の企業から広告収入も得ており、年間約3,000万円ほどの収入がある。

### 2 主な質疑応答

問 車内に冷暖房等の空調設備がないと記載があるが。

答 屋根に断熱材はついているが、空調設備はない。先日の災害級の暑さの時、車内が高温になったため、熱中症対策として一部運休した。設備がない理由としては環境にやさしい点である。設置すると、コンセプトともずれてしまい、窓を開けて池袋の風を感じてほしいという思いもありこのような設計にしている。

問 車内にある内蔵のバッテリーは容量が大きくなるほどコストがかかる。費用はどれくらいか。

答 バッテリーは4つ積んでいる。1個10時間の充電で60キロ走ることができ

る。バス1台作るのに全部で3,000万円ほどかかっている。バッテリー交換はまだしていないので現時点でコストは分からない。ちなみに非常時には1個でスマホ2,500台分を充電することができる。

問 バス10台で運営するのに年間のコストはどれぐらいかかるのか。

答 人件費なども含めると1億5~6千万円かかっている。中でも人件費の占める割合が大きい。委託業者の収益は2,000万円ほどである。



### 「公園施策について」

地域の防災性向上と賑わい創出のため、造幣局跡地にとしまみどりの防災公園（イケ・サンサパーク）をオープンした。造幣局の移転要望から防災公園の設置要望まで地元主導で行われている。約半分の土地を防災公園として、残りの土地を公募で大学誘致するとともに保健所として暫定活用もしている。全体で196億円かかっているが、用地費、施設費の費用は国の補助金を活用し、地方債も財政調整制度により戻ってくるため、区の最終的な実質負担は12億円で整備している。

災害時に、防災機能を発揮するため広い芝生を整備し、帰宅困難者の受入や備蓄物資の保管もでき、集配の拠点、またヘリポートとしての機能も有する。通常のトイレに加え、非常用トイレも整備している。

平常時には放置されがちな公園を「も



しも」と「いつも」の両面に対応した設備を多く兼ね備えることにより、いつでも安心して暮らせる社会づくりを進めている。数多くの賞を受賞している公園で、他市からも多くの視察の受入をしている。

他に3つある区の公園を含めて、4つの公園を核としたまちづくりを進めており全ての公園にカフェが整備されており、公園を活用したまちづくりとして注目されている。

## 2 主な質疑応答

問 運営費などの区の持ち出しはどれくらいなのか。

答 公園の設計、施工、管理運営の一体型、事業者のコンソーシアム方式（注1）により公募で選んでおり、選んだ業者を指定管理候補者として選定している。指定管理料として年間約1億円支出している。

問 公園内にあるカフェの収益は

答 公園の設置管理許可制度で使用料の規程があり直接区に入ってきているのは、年間800万円ほどである。一定金額の売り上げを超えれば超えた分の5%をさらに納入してもらっている。

問 カフェの許可使用料の歩合だが、条例には1平方メートルあたり1月1万円の上限があるが、上限があると歩合制の効果が薄れる。歳入の確保の観点からは取っ払う議論はないのか。

答 上限は条例で決まっており、超えて徴収することはできない。季節がいい時は上限に達する月がある。固定分の使用料に関しては導入時に不動産鑑定士などの見解を踏まえて決定している。公園が駅から離れているので集客見込みが予想できなかった中で上限を設定している。上限に関する議論は現時点ではない。

### ※注1 コンソーシアム形式

複数の企業が作る共同体を指す。公園の設計や施工から管理運営までを一体にして事業者を公募して協定を結ぶことにより、完成後の管理運営、維持管理を見据えた設計や施工をすることができる。

以 上